

因島高校を支援する会

発行
因島高校を支援する会
会長 竹中啓修
事務局：因島高校PTA
☎08452-4-1281
題字 竹中啓修

因島高校 オーストラリア海外研修実施

因島高校海外語学研修生十七名と引率二教諭は、八月七日から十七日まで、オーストラリア、ブライビー高校にて、研修を実施しました。PTAが、東北の実施高校や現地を訪問視察し、学校と精力的に協議を重ね、因島市から研修費の一部が助成され、実施の運びとなったものです。研修について引率された冠美穂教諭に報告していただきました。



ブライビー高 生徒と

8/7 見送りの中、広島空港を
出発、シンガポール
経由

8/8 翌日の六時三十分ブ
リ
スベン着。初めて飛行
機で夜を明かした生徒達はさ
すがに疲れ気味。空港ではブ
ライビー高校の先生とフォー
サイスさんが待っていてくれ
ました。バス、ボートを乗り継
いでブリスベン市街へ。

昼食は、ファーストフード
を自分で注文。やればできる
ものだ。ここからブライビー
島まで一時間バスの中でくっ
すり。目が覚め、挨拶もそこ
そこで、一人また一人と、ホ

スト家に引き取られて行って
しまふ。英語が全く聞き取れ
ず、こわばった顔をしている
生徒達を見て、大丈夫だろう
か、不安は大きい。

この日のある生徒の感想

アマングに会った時、自分
の英語力のなさがびっくりし
た。無言が続いて、どうして
いいかわからなくなつて、本
当に泣きそうだった。でもそ
んなウチにでも優しくしてく
れるのがうれしくて、違う意
味でも泣きそうだった。だん
だん英語にも慣れてきた頃
には、単語の意味とかは全然わ
からんはずなのに、相手が思

つとることがわかるって、い
う変な感覚になった。不安もあ
るけど楽しさの方が大きい。
明日は何が起きるか楽しみ！

8/9 翌日、学校で生徒達と
再会。みんな元気で安
心。リネット先生の授業。歩
いてビーチへ。途中のいろん
なお店を訪ねて何を売ってい



リネット先生の授業

この三日間はみんなそれぞ
れ大変楽しかったようです。
いろんな所へ連れて行っても
らったそうだ。サンシャイン
コースト、モントビル、グラ
スハウスマウンテン、ス
ーパーマーケット、動物園、日
曜教会、老人ホームなど。

次の日からは三日間、学校
は休み。みんな部屋に閉じこ
もってしまわないだろうか。
ミシェルからEnjoy yourself.
と言われ、生徒の力を信じる
しかない。

8/13 三日ぶりの学校。三日
間何をしたか生徒達は
英語で発表。リネット先生大
感激。モーニングティーの後

は日本料理を作りました。A
班はカレーライス。B班はお
にぎりとお汁。C班はお好み
焼きとちらし寿司。持参した
ごはんを鍋でたいたり、慣れ
ない調理具をものともせず、
生徒達はじつに楽しそう。そ
してまた食へに来たバディ達
や校長先生をはじめ先生達が
本当においしそうに食べてく
れて、あつという間にカラッ
ポ。日本料理は大成功。
午後、男子は化学実験、女
子は保育の授業。



日本料理の時間

きました。
8/15 午前中はさよならパ
ーティーの準備
オーストラリアの東北端の島か
ら来たアポリジニの先生の授
業。ぜひ生徒に見せたい写真
あり。「慰霊碑」と日本語で
書いてある一本の石碑の写真
でした。その島に一八七〇年
頃から一九三〇年頃まで、島
の人たちと一緒に真珠貝や魚
を捕ったりして共に働いた日
本人が何千人もいて、現地で
亡くなった日本人も約七〇〇
人。その人達のための慰霊碑
だ。この話を聞いて、「悪い
ことばかりしたと思よつ
たが、日本人もいいことをし
たんだ。」と生徒の感想。



ブライビー高で授業

ブライビー島から、第一次
第二次大戦と出兵した兵士を
偲び、年に一度島中から朝4
時頃から何百人も集まって歩
き、教会関係のボランティア
の人たちが朝ご飯を炊き出し
する行事があるそうです。至
る所であるようなエピソードが
あり、みんな語るべき物語を
持っている。特にオーストラ
リアは移住してきた人たちの
国ですから、背景を教えても
らうのも大変興味深い。これ
からどうやって仲良くしてい
くかを考えないといけないの
だと感じました。

生徒の日記から。
farewell partyでは、日本の
伝統的な服ということで、浴衣
を着ました。私達のMonkey
Dadもその姿を見てうれしそ
うに拍手してくれました。その
笑顔はこの先ずっと忘れられ
ない思い出となると思います。
私達は練習した歌、Walking
Maiden、故郷を歌い、おみや
げをもらい、自分のホストファ
ミリーと食事をとりました。私
達は悲しくなって泣き出して
しまい、MomとDadが抱きし
めて慰めてくれました。



小学校で歓迎される

8/16 いよいよ帰国。別れを
乗り込む。広島空港ではたく
さんの方々に迎えてもらい、
ありがとうございます。

帰ってきてまず思ったこと
は、みんな無事で帰れてよか
った、そして生徒達がみんな
いい体験ができた、というこ
とです。今回の研修はホスト
ファミリーのみなさんに大変
良くして頂いて、オーストラ
リアの人々の気持ちの豊かさ
を感じました。そして生徒達
もそれぞれつらいことやしん
どい時もあつたが、常に前向

東生口小PTA臨時総会 「因島市と瀬戸田町の合併を願う」決議

東生口小学校では、8月20日、臨時PTA総会を開き、「因島市と瀬戸田町の合併を願う」と決議し、因島市、瀬戸田町の行政、議会、住民に働きかけることになりました。小田圭三PTA会長は、「最も影響の大きいわたし達の率直な気持ちを知ってもらいたい。」と強調しています。

決議

私たち東生口小学校PTAは、子どもたちの将来を考えたとき、因島市と瀬戸田町が合併することを望み、次のとおりお願いすることを決議しました。

東生口小学校PTAよりのお願い

皆さんご存知のとおり、東生口では因島市立の小学校を卒業した後に、瀬戸田町と因島市による組合立生口中学校へ進みます。中学校に進学すると瀬戸田町の生徒と交流することになります。それはそれですばらしいことですが、因島の市民でありながら因島市の学校間で行われるスポーツ大会、勉強、PTA活動等においては交流がほとんどなくなります。このような環境にあつて、因島島内の子どもたちと比べて故郷因島への思いが少し異なってくることは否めません。

教育の立場から生口島という一つの島に行政区の区割りがあつることでの問題点を、東生口地区は感じてきました。今こそ、この区割りを取り除くことができる50年来のチャンスと考えます。

東生口小学校では、児童が減少し、今年から一部学年では複式になりましたが、因島市と瀬戸田町が一緒になることで、学校にも子どもにも新しい将来展望が開けてきます。

こうしたことを考えた時、因島市と瀬戸田町が合併することを心から願っています。

瀬戸田町の皆さん、因島市の皆さん、私たちの声を聞いてください。考えてください。よろしくお願いします。

平成14年8月20日

因島市立東生口小学校PTA臨時総会



農業博覧会

お菓子やパッチワーク、写真
絵などの芸術品まで、あらゆる
ものが展示されていました。
十日間行われている。メイン
アリーナでは日替わりで出し
物が変わる。夜には花火も。
一日では見きれない。生徒達
はバディと一緒に乗り物乗っ
たり、買い物したり。帰る途
中、野生のコアラが人家近く
の道路脇の木にいたのには驚

夕方六時、お別れパーティ
が始まりました。



ブライビー高 玄関にて

ブライビー高校より
来日・研修希望
ブライビー高校から因島で
の研修希望の信書が届き、高
校、PTAで特別委員会を設
け検討することになりました。



ブライビー高校の信書

帰国報告会



生徒たちを激励する村上因島市長

語学研修を終え、無事帰国
した生徒十七名のうち九名が
八月二十二日、市役所を訪れ、
村上和弘因島市長に報告会を
行いました。

研修生代表、村上麻衣子さ
ん「やさしく迎えてくださり、
不安も吹き飛びました。後輩
にも是非すすめたい。」と謝辞
を述べ、続いて一人ずつ感想
を語りました。

七月三十一日、市役所にて、
研修生十七名、引率教諭二名
を前に壮行式が行われました。
因島高校を支援する会竹中
啓修会長、「国際人としての感
覚を身につけてほしい。今後
は英語を話せることは必須で
す。」
村上和弘因島市長、「因島市
民を代表して、オーストラリ
アの同世代の人たちと交流を
深めてほしい。」

因島高校PTA県内公立高校一〇〇校「高校野球」のアンケート実施

因島高校PTAでは、「夏の高校野球広島県予選大会」の対応について、学校と協議を重ねていますが、このたび、県内公立高校一〇〇校の校長、PTA会長にアンケートを実施し62校から回答がありました。

夏の高校野球広島県予選大会に際して、PTAと野球部保護者会が学校に吹奏楽部の出演と学校からの応援を要望したが、難しいとの返答。授業のある日は、生徒の応援も許可されなかった。

三回戦と勝ち進んだ生徒を励ますため、土生中学校にブラスパンドの出演を急遽依頼した。

応援は、野球生徒たちへの励ましになるだけでなく、学校の和ができ、友情や愛校心や郷土愛が育まれると思っ。相手校の統率の取れた応援振りを見て、放課後何回も練習しながら、生徒の友情、学校の和が醸成されていくであろう姿が想像できた。特に、我々は二校が統合され、新しい学校を創造していく時期であり、学校あげての野球の応援は好機と思った。

因島高校PTAでは学校に

因島水軍祭に因島高校参加「健闘」

八月二十四日、二十五日の因島水軍祭に、因島高校チームが参加しました。



「跳楽舞」に参加

八月二十四日、二十五日の因島水軍祭に、因島高校チームが参加しました。(全体で二十四チームの参加)「因島高校インターチーム」ト〇二(八人)「嵐(三人)」「ブルーレイ」ンボー(校長とPTA有志十五人)

村井PTA会長は、「因島高校の生徒も祭りに参加して、楽しさを共感してほしい。町の人たちの応援を聞いて、自分たちも因島の子もだ。因



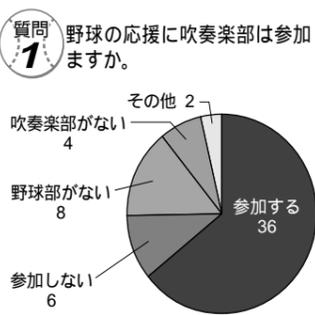
小早レースに参加

「跳楽舞」には、因島高校は三チーム参加しました。(全体で二十四チームの参加)「因島高校インターチーム」ト〇二(八人)「嵐(三人)」「ブルーレイ」ンボー(校長とPTA有志十五人)

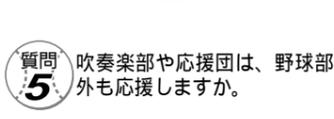
祭り参加が郷土愛に

二十五日は、「小早レース」があり、「因島高校中少年合漕団」チームは、初出場ながら三十二チーム中十七位の成績でした。戸田修三教諭には、参加生徒募集から練習までお世話いただきましたが、「生徒たちは、よくがんばった。いい思い出ができたと思っ」と、真つ黒に日焼けした生徒を見て感激していました。

質問1 野球の応援に吹奏楽部は参加しますか。



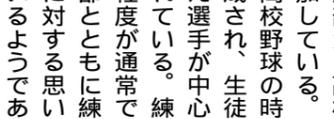
質問2 吹奏楽部のコンクールが8月はじめにありますが野球の応援や練習が妨げになりますか。



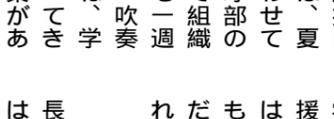
質問3 応援団はありますか。



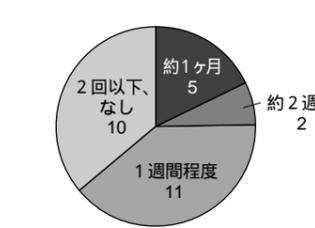
質問4 応援の練習はどのくらいしますか。



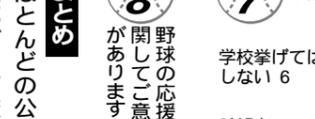
質問5 吹奏楽部や応援団は、野球部以外も応援しますか。



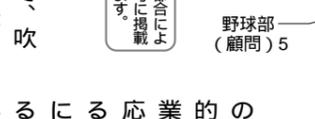
質問6 試合日が授業と重なった時の対応は



質問7 応援の段取り



質問8 野球の応援に



アンケートの結果

質問1 野球の応援に吹奏楽部は参加しますか。

質問2 吹奏楽部のコンクールが8月はじめにありますが野球の応援や練習が妨げになりますか。

質問3 応援団はありますか。

質問4 応援の練習はどのくらいしますか。

質問5 吹奏楽部や応援団は、野球部以外も応援しますか。

質問6 試合日が授業と重なった時の対応は

質問7 応援の段取り

質問8 野球の応援に

ほとんどの公立高校で、吹奏楽部が、高校野球の応援に参加している。応援団は、夏の高校野球の時期にあわせて編成され、生徒会や野球部の控え選手が中心となって組織されている。練習期間も一週間程度が通常であるが、吹奏楽部とともに練習を重ね、学校に対する思いも高まっているようである。授業があ

五月五日等により授業優先のため、授業日の応援が現実的に難しくなっているが、授業振替により希望者が試合の応援に行けるよう配慮している高校や、応援に行つた生徒に補習を組んでいる高校もある。また、愛媛県の高は、学校行事として学校挙げて応援に参加しているが、他県では、早くから予選が始まる県もあり、どう対応しているのだろうか。今後の課題と思われる。

九月十八日、村井PTA会長と、藤原野球部保護者会長は、学校にアンケート報告をした。桶東校長から、「一学期内に体制を確立すべく全教員に課題提案している」と回答があり、来年度、元氣いっぱいの応援の姿が楽しみである。

因島高校公開講座

八月九日、十日の二日間、PTAが実施しましたが、最新鋭の望遠鏡およびプラネタリウムという宣伝が効いたのか、小学生の親子連れなど百人以上の参加でした。ドームで、望遠鏡を動かすとすばらしさに歓声があがりましたが、曇り空で金星や夏の星座もほ

因島高校公開講座

八月二十八日、市民会館にて、十四年度「第一回因島教育フレッシュアップ推進協議会」が開催されました。この会は、平成十一年、因島市における学校教育の問題を多面的に協議し、学校、家庭、地域、行政が、課題を共有しながら、地域ぐるみで、教育を推進していこうという趣旨で設立されました。教育委員会が、学校等、保護者等、地域社会それぞれの代表者、学識経験者、教育行政関係者から委員を十五名委嘱し、会長に戸田照夫元教育長が再任されました。因島高校桶東愛生校長は、「地域から期待される学校をめざしていきます」と、話しました。

重井地区 地域懇談会開催す

九月十八日、村井PTA会長と、藤原野球部保護者会長は、学校にアンケート報告をした。桶東校長から、「一学期内に体制を確立すべく全教員に課題提案している」と回答があり、来年度、元氣いっぱいの応援の姿が楽しみである。

因島高校公開講座

ほとんどの公立高校で、吹奏楽部が、高校野球の応援に参加している。応援団は、夏の高校野球の時期にあわせて編成され、生徒会や野球部の控え選手が中心となって組織されている。練習期間も一週間程度が通常であるが、吹奏楽部とともに練習を重ね、学校に対する思いも高まっているようである。授業があ

五月五日等により授業優先のため、授業日の応援が現実的に難しくなっているが、授業振替により希望者が試合の応援に行けるよう配慮している高校や、応援に行つた生徒に補習を組んでいる高校もある。また、愛媛県の高は、学校行事として学校挙げて応援に参加しているが、他県では、早くから予選が始まる県もあり、どう対応しているのだろうか。今後の課題と思われる。

因島教育フレッシュアップ推進協議会開く

八月二十八日、市民会館にて、十四年度「第一回因島教育フレッシュアップ推進協議会」が開催されました。この会は、平成十一年、因島市における学校教育の問題を多面的に協議し、学校、家庭、地域、行政が、課題を共有しながら、地域ぐるみで、教育を推進していこうという趣旨で設立されました。教育委員会が、学校等、保護者等、地域社会それぞれの代表者、学識経験者、教育行政関係者から委員を十五名委嘱し、会長に戸田照夫元教育長が再任されました。因島高校桶東愛生校長は、「地域から期待される学校をめざしていきます」と、話しました。

重井地区 地域懇談会開催す

九月二十日、重井公民館にて、因島高校PTA重井地区懇談会が開催され、重井地区保護者が、五十名集まり、進路指導、生徒指導など、率直な意見交換を行いました。学校では、学年懇談会を計画していますが、PTAでは、保護者の集まりやすい地域での懇談会を開いてほしいと学校に要望していたものです。

重井地区 地域懇談会開催す

最新鋭の望遠鏡で「お月見会」

八月九日、十日の二日間、PTAが実施しましたが、最新鋭の望遠鏡およびプラネタリウムという宣伝が効いたのか、小学生の親子連れなど百人以上の参加でした。ドームで、望遠鏡を動かすとすばらしさに歓声があがりましたが、曇り空で金星や夏の星座もほ

因島高校公開講座

八月九日、十日の二日間、PTAが実施しましたが、最新鋭の望遠鏡およびプラネタリウムという宣伝が効いたのか、小学生の親子連れなど百人以上の参加でした。ドームで、望遠鏡を動かすとすばらしさに歓声があがりましたが、曇り空で金星や夏の星座もほ

因島高校公開講座

八月九日、十日の二日間、PTAが実施しましたが、最新鋭の望遠鏡およびプラネタリウムという宣伝が効いたのか、小学生の親子連れなど百人以上の参加でした。ドームで、望遠鏡を動かすとすばらしさに歓声があがりましたが、曇り空で金星や夏の星座もほ

市民の投書箱

日本ハムの牛肉偽装隠蔽事件により、日ハム製品が因島の学校給食から「企業姿勢への抗議。子どもの教育上も良くない」との理由で排除され

市民の投書箱

日本ハムの牛肉偽装隠蔽事件により、日ハム製品が因島の学校給食から「企業姿勢への抗議。子どもの教育上も良くない」との理由で排除され

柏原信一氏 碁盤七セット寄贈

日本棋院元因島支部長 柏原信一氏(中庄町)から、因島高校へ、碁盤七セット(一寸碁盤5セット、5寸碁盤1セット、2寸碁盤1セット)の寄贈がありました。

碁盤七セット寄贈

日本棋院元因島支部長 柏原信一氏(中庄町)から、因島高校へ、碁盤七セット(一寸碁盤5セット、5寸碁盤1セット、2寸碁盤1セット)の寄贈がありました。

重井地区 地域懇談会開催す

九月二十日、重井公民館にて、因島高校PTA重井地区懇談会が開催され、重井地区保護者が、五十名集まり、進路指導、生徒指導など、率直な意見交換を行いました。学校では、学年懇談会を計画していますが、PTAでは、保護者の集まりやすい地域での懇談会を開いてほしいと学校に要望していたものです。

重井地区 地域懇談会開催す

九月二十日、重井公民館にて、因島高校PTA重井地区懇談会が開催され、重井地区保護者が、五十名集まり、進路指導、生徒指導など、率直な意見交換を行いました。学校では、学年懇談会を計画していますが、PTAでは、保護者の集まりやすい地域での懇談会を開いてほしいと学校に要望していたものです。

重井地区 地域懇談会開催す

九月二十日、重井公民館にて、因島高校PTA重井地区懇談会が開催され、重井地区保護者が、五十名集まり、進路指導、生徒指導など、率直な意見交換を行いました。学校では、学年懇談会を計画していますが、PTAでは、保護者の集まりやすい地域での懇談会を開いてほしいと学校に要望していたものです。

重井地区 地域懇談会開催す

九月二十日、重井公民館にて、因島高校PTA重井地区懇談会が開催され、重井地区保護者が、五十名集まり、進路指導、生徒指導など、率直な意見交換を行いました。学校では、学年懇談会を計画していますが、PTAでは、保護者の集まりやすい地域での懇談会を開いてほしいと学校に要望していたものです。